

広報 にしあいづ



威勢良く町内を練り歩く

五穀豊穡と商売繁盛を願う野沢の諏方・熊野両神社の祭礼が9月17日から19日までの3日間にわたり行われました。

野沢町内各地区の御輿は、地元青年たちによって担がれ、「もーめっ、もーめっ」という威勢の良い掛け声に合わせて、100kgを超える御輿を上下に揺さぶりながら、夜遅くまで野沢町内を勇壮に練り歩きました。

主な内容

- 自立の道を歩む
～ 協働による独自の町づくりへ～ P 2
- 町民アンケート調査結果報告 P 3～6
- 9月議会定例会報告 P 7
- 新たな地域交流と情報発信の拠点
～ 道の駅「にしあいづ」が供用開始～ P 8
- 世界へ向けて芸術を発信 P 9
- 元気に長寿を祝う P 10～11



Nishiaizu NO.552

2004 10月号
(平成16年)

編集と発行 福島県耶麻郡西会津町役場

☎ 0241 - 45 - 4536 (企画調整課)

<http://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/>

自立の道を歩む

～協働による独自の町づくりへ～

「自立宣言」の趣旨を
自治区長に説明
九月二十二日には、各自治区
長を対象に、「自立宣言」に関す
る説明会が、町公民館で開催さ
れました。

説明会では、自立宣言をする
に至った経緯や趣旨などが説明
されました。

西会津町自立宣言

先人から受け継いだ郷土「西会津町」

を、二十一世紀に生きる子孫に対し、住
みよい魅力ある町として引き継ぐことが、
今ここに生きる私たちの使命であり、そ
のためには町民と行政が一体となって、協
働による特色ある町づくりを確立するた
め、自立の道を歩むことを宣言する。

平成十六年九月十日

九月十日に開催された町議会九月定例会において、「西
会津町自立宣言」が全会一致で可決されました。
これは、二十歳以上の全町民を対象に本年七月に実施し
た「市町村合併に関するアンケート」調査結果が、合併賛
成三十八・六％に対し、合併反対が五十・六％と賛成を上
回り過半数を超えたことから、町民の求める方向は自立で
あると判断し、「自立の道」を歩むことを宣言しました。

町では、市町村合併は地方自
治の根幹に関わることから、合
併特例法の期限にこだわらず、
じっくりと議論し、町民のみな
さんに最終的な判断をしていた
だくことを基本姿勢として取り
組んできました。

そこで、みなさんに正しい情
報の提供と意見交換のため、昨
年十一月から本年三月まで町内
三十二会場で行った説明会を開催
するとともに、町民のみなさん
に最終的に判断していただく方
法として七月に、二十歳以上の
全町民を対象とした「市町村合
併に関するアンケート調査」を
実施しました。

この結果、「合併反対」が五
十・六％と過半数を超えたこと
から、町民のみなさんが求める
方向は、「すべてにやさしい健康
のまち にしあいつ」を町政発
展の基本理念として、これまで
取り組んできた各種施策をはじ
め、全国に先駆けて実施してい
る保健・医療・福祉の連携を強
化したトータルケアの町づくり、
ケーブルテレビを活用したマル
チメディアの町づくりなど、合
併をしない独自の町づくり、特
色ある町づくりであると判断し、
「自立宣言」をし、自立の道を
歩むこととしました。



「自立宣言」について区長さんに説明

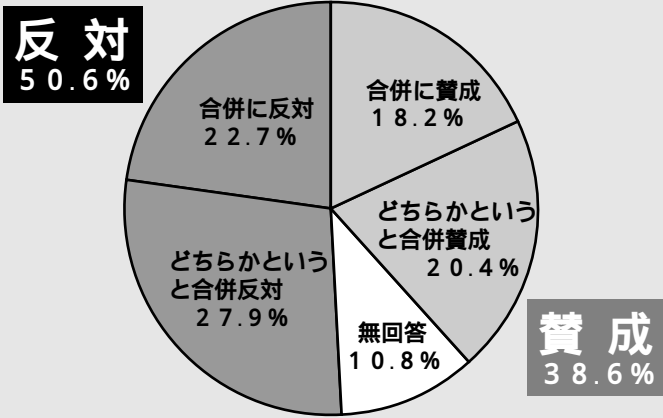
「自立計画」の策定を進
めます

先人から受け継いできた郷土
「西会津町」をより住みよい魅
力ある町として引き継いでいく
ため、今後は「自立計画」を策
定し、町民と行政が一体となっ
た「協働」による特色ある町づ
くりを進めていきます。

町民アンケート調査結果報告

= 調査結果は今後のまちづくりに反映 =

市町村合併をどう考えますか



合併に賛成	1,174人 (18.2%)
どちらかというと合併に賛成	1,320人 (20.4%)
合併に反対	1,471人 (22.7%)
どちらかというと合併に反対	1,803人 (27.9%)
無回答	701人 (10.8%)

「合併反対」が過半数を超える結果に

アンケート調査の対象者数は、二十歳以上の住民基本台帳登録者数である七千四百一十一人でしたが、長期不在等による回収不能者六十人を除く、七千三百五十一人が有効対象者数となりました。この合併に関する項目の集計結果はグラフのとおりです。

町民のみなさんに合併の是非を判断していただくため、本年七月に実施した「市町村合併に関する町民アンケート調査」の集計結果がまとまりましたのでお知らせします。今回のアンケート調査の結果を受け、自立の方針が決定されたほか、まちづくりに関する設問は、町の将来像、基本方針を定める自立計画や第三次長期総合計画に反映させていきます。詳しくは、各戸に配布された「市町村合併に関する町民アンケート調査結果報告書」をご覧ください。

【合併反対の主な理由】

福祉サービスの低下	40.9%
地域衰退の恐れ	38.4%
特色あるまちづくりができない	30.1%
行政サービスの低下	28.8%
役場が遠くなる	22.9%
地域の連帯感が薄れる	16.9%
意見が反映されにくくなる	13.9%
無回答	8.1%

【合併賛成の主な理由】

財政支援策で行財政基盤強化	58.9%
効率的な行財政運営	40.9%
日常生活圏と行政範囲の一致	20.3%
専門的知識を持つ職員の確保	20.0%
他市町村の公共施設利用	19.2%
国や近隣市町村が推進している	17.2%
無回答	11.8%
「市」で地域のイメージアップ	11.7%

「賛成」→「反対」→「無回答」の三つに区分すると、「合併に賛成」が二千四百九十四人（三八・六%）、「合併に反対」が三千二百七十四人（五十一・六%）、「無回答」七百一人（十・八%）となり、「合併に反対」が「合併に賛成」を十二・〇ポイント上回る結果になりました。

地区別でみると、「合併に賛成」の割合は、新郷地区が四十二・六%と最も高く、「合併に反対」の割合は、奥川地区が五十四・六%と最も高い結果となりました。

反対理由は「福祉サービスの低下」がトップに「賛成」→「反対」の主な理由は表のとおりです。

また、「合併に賛成」と答えた人の合併をする場合の枠組みは、「喜多方広域県内の市町村」が四十六・〇%と最も高く、次いで「会津坂下町など両沼地方の市町村」の二十五・二%、「会津地域全体」の二十・五%となりました。

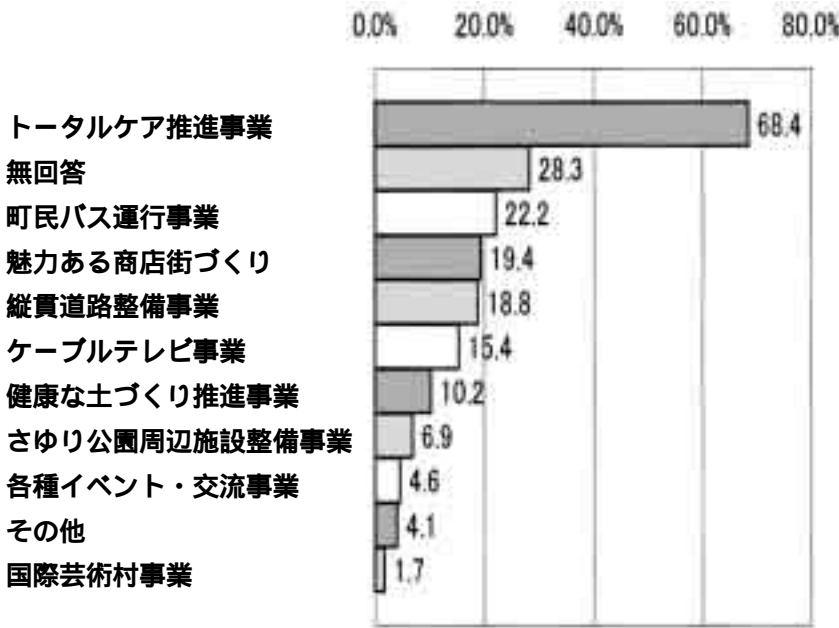
「トータルケア推進事業」が約七割

現在、町が重点的に進めている事業のうち、今後も継続・発展すべきものとしては、「トータルケア推進事業」が六十八・四％と圧倒的に多い結果となりました。年代別では、六十歳代から七十歳代の人が特に多く、七十五％を超える人が選択しています。

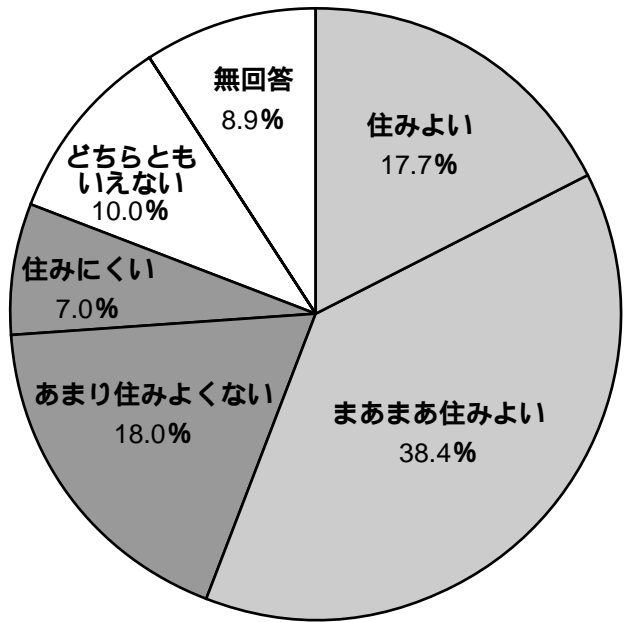
それに続くのが「町民バス運行事業」の二十二・二％、「魅力ある商店街づくり事業」の十九・四％となっています。

「町民バス運行事業」は、比較的高齢の人が多く選択し、「魅力ある商店街づくり事業」は、若い人が多く選択しています。

今後も継続・発展すべき事業



町が住みよいかどうか



「住みよい」が過半数を超える

西会津町に住んでいて、「住みよい」「まあまあ住みよい」と答えた人は、合わせて五十六・一％。逆に、「あまり住みよくない」「住みにくい」と答えた人は合わせて二十五・〇％となり、「住みよい」と答えた人が多数を占めました。

この結果は、前回(平成五年)調査でも「住みよい」という回答が、六十・五％、逆に「住みにくい」という回答が二十二・六％となっており、大きな変化は

見られませんでした。

年代別にみると、年齢が下がるにつれて「住みにくい」と回答する人の割合が高くなっています。

また、「あまり住みよくない」、「住みにくい」と感じる理由については、「働く場が不足」が六十九・七％と圧倒的に多く、「自然条件がきびしい」(二十七・三％)や「後継者が不足」(二十五・七％)が続きます。

アンケートの実施方法と回収状況

調査基準日

平成十六年七月一日

調査期間

平成十六年七月一日から七月十五日

調査対象

住民基本台帳に記載されている二十歳以上の全町民

調査方法

自治区長を通じ、配布・回収

配布及び回収結果

対象者数	7,411人
回収不能者数	60人
有効対象者数	7,351人
回収数	6,469人
回収率	88.0%

調査内容

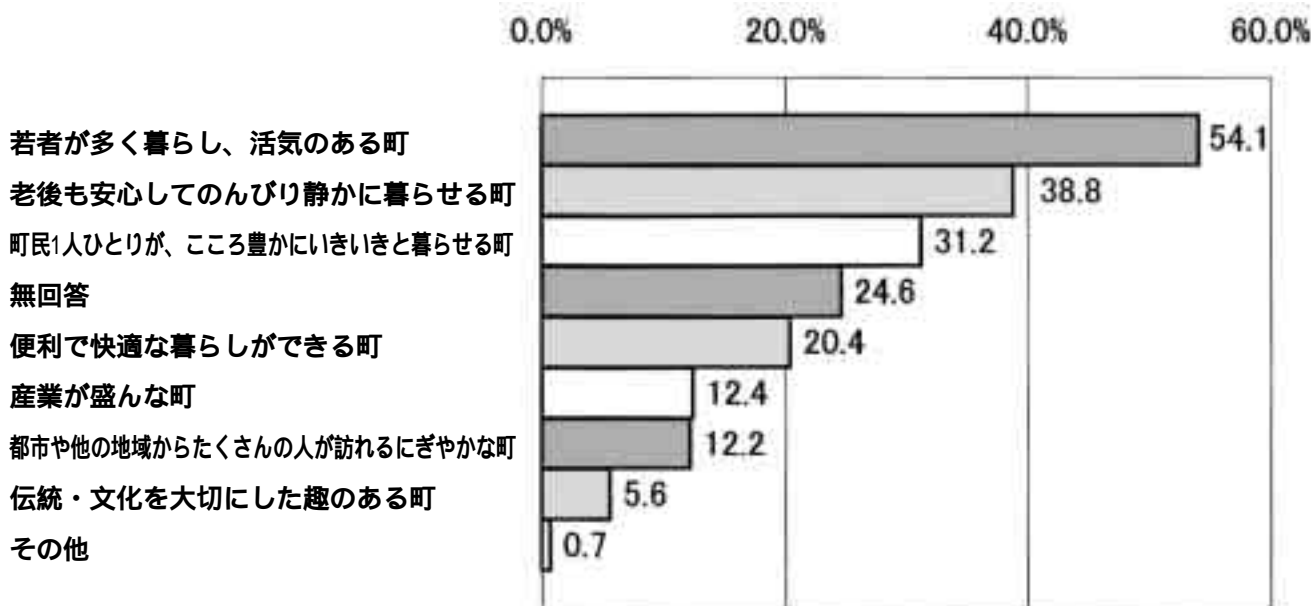
属性(男女別、年齢等)、合併に対する意向、今後のまちづくりなどの計十七問

理想的な町の将来像は？

「若者が多く暮らし、 活気のある町」

理想の将来像については、「若者が多く暮らし、活気のある町」が五十四・一％で最も多く、次いで「老後も安心してのんびり静かに暮らせる町」（三十八・八％）、「町民一人ひとりがこころ豊かにいきいきと暮らせる町」（三十一・二％）が続きます。「活気のある町」と「のんびり静かに暮らせる町」は相反するようですが、両者を選択する人も多くあり、若者の定住が老後の安心にもつながると言えます。

理想的な町の将来像



生活環境

回答	回答率 (%)
雪対策の充実	49.6
道路網の整備	33.2
下水道の整備	22.2
自然環境の保全	21.9
公共交通機関の充実	21.7
無回答	17.3
ゴミ対策の充実	16.6

生活環境の改善の項目では、「雪対策の充実」が四十九・六％と最も多く、「道路網の整備」（三十三・二％）、「下水道の整備」（二十二・二％）が続きます。地区別に比較してみると、新郷・奥川地区では「道路網の整備」と答えた人の割合が高くなっています。また、「下水道の整備」という回答は、群岡・新郷地区で三十％を超える結果となりました。

年代別にみると、二十歳代・三十歳代で、「スポーツ・レクリエーション施設の充実」という回答が他の年代よりも多く、二十％を超えています。

生活環境について

雪対策の充実がトップ

居住地区

野沢地区	2,020人 (31.2%)
尾野本地区	1,691人 (26.1%)
群岡地区	917人 (14.2%)
新郷地区	716人 (11.1%)
奥川地区	957人 (14.8%)
無回答	168人 (2.6%)

年齢

20歳代	440人 (6.8%)
30歳代	493人 (7.6%)
40歳代	902人 (13.9%)
50歳代	1,045人 (16.2%)
60歳代	1,175人 (18.2%)
70歳代	1,465人 (22.6%)
80歳以上	793人 (12.3%)
無回答	156人 (2.4%)

性別

男性	3,044人 (47.0%)
女性	3,271人 (50.6%)
無回答	154人 (2.4%)

基本調査結果
アンケート調査回答者の属性
については次のとおりです。

産業振興

回答	回答率 (%)
若者の雇用増進を図る規模の大きな企業誘致	58.1
無回答	23.6
米など従来の基幹基幹農産物を伸ばす農業	23.2
「健康の町」の特性を活かした新たな健康サービス産業の創出	18.9
農業生産法人や集落集落営農組織による合理化を進めた農業	18.6
新たな商業エリアと既存商店街の連携による商業の活性化	13.6
地域資源や地場産業を活用した新たな観光産業の創出	13.3
高速交通網を活用した企業研究機関やベンチャー企業などの誘致	13.2
ミネラル野菜の産地化による農業	10.7

保健・医療・福祉

回答	回答率 (%)
診療所の充実	57.3
子育て支援の充実	25.8
高齢者生きがい対策	20.6
無回答	17.5
高齢者・障害者の生活支援	16.8
高齢者・障害者福祉施設の充実	16.6
各種検診の充実	15.7
疾病予防対策の充実	10.2

産業の振興について

若者の雇用対策が約半数

産業振興の面では、若者の雇用増進を図る規模の大きな企業誘致が五十八・一％と群を抜いており、若者の定住促進を望む声が多いことを裏付けています。

次いで、米など従来の基幹農産物を伸ばす農業の二十三・二％、「健康の町」の特性を活かした新たな健康サービス産業が二十三・二％で続きます。年齢別にみると、米など従来の基幹農産物を伸ばす農業や

「生産法人や営農組織による合理化を進めた農業」の回答は、五十歳代以上に多く、四十歳代以下の人が「商業の活性化」や「高速交通網を活用した企業の誘致」を選択しています。

保健・医療・福祉について

「診療所の充実」が約六割

保健・医療・福祉分野では、「診療所の充実」が五十七・三％と突出して多く、「子育て支援の充実」(二十五・八％)、「高齢者生きがい対策の充実」(二十・

六％)が続きます。

世代別で見ると、年齢が上がるにつれ「福祉施設の充実」や「生きがい対策の充実」を望む割合が高くなっています。子育て世代と言われる二十歳代から四十歳代では、特に「子育て支援の充実」「保育所サービスの充実」の割合が多くなっています。

また、どの世代でも「医療の充実」を望む回答が高い割合を占めています。

自由意見欄について

自由意見欄には、千百三十一人の方の記入がありました。

その中で、最も多かったのは、「若者重視のまちづくり」で、「高齢者福祉だけでなく、今後町を担う若者が定着できるまちづくりが必要」や「企業誘致などによる若者の就業の場を確保」という趣旨の意見が非常に多くありました。次に多いのが、行財政に関わるもので、「町職員、町議会議員の削減」や「町特別職、町一般職の給与削減」、「行政経費の削減」などです。

保健・医療・福祉分野では、「保育所サービスの充実」や病院、小児科など特定診療科目の設置が多く、産業振興分野では、「ミネラル野菜にこだわらない農業振興」や「イベントの見直し」。生活環境分野では、「町民バスの利便性向上」などの意見が多くありました。その他「町民本位のまちづくり」や「町民と行政が一体となった協働のまちづくり」などの意見もみられました。

全体的に「若者」に関する意見が多く、高齢化が一層進む中、町の将来を担う若者や子供たちが定住できるまちづくりを望む

声が、年齢階層を問わず多くありました。この他に、寄せられた意見の一部をご紹介します。

もつと若者の住みやすい町にしてほしい。地元で老後もずっと暮らしたいと思わせるようなまちづくりが大切。老人にやさしい町だけでなく、もつと若者の暮らしのことも考えて欲しい。

これからのまちづくりを担う子ども、若者の育成にもう少し力を入れて欲しい。診療所の診療科目を増やして欲しい。

町に小児科があると助かります。高齢者生きがい対策の充実と老後も安心してのんびり静かに暮らせるまちづくり。子どもを持った親が働きやすい環境にしたい。みんな生活が大変です。

若者の雇用を確保し、活気ある町にして欲しい。ミネラル野菜にこだわらず、地域にあった野菜づくりを。イベントの見直し

広く町民の意見が反映されるシステムを町がつくり、その意見が町政に活かされること大切だと思います。

9月議会定例会報告

27議案すべてを原案どおり可決・承認

九月十日から十七日までの八日間を会期に開催された九月定例会は、提案された二十七議案すべてを原案のとおり可決・承認し、閉会しました。

本号では、十一月号でお知らせする平成十五年度決算報告を除く町長からの主要事項報告、可決された議案についてお知らせします。



町政主要報告から

新潟・福島豪雨災害による被害状況とその対策について

七月十二日夜半から十四日にかけて、また十六日から十八日にかけて度重なり本町を襲った「新潟・福島豪雨」の八月末現在の被害状況は、町道二十七路線四十カ所、河川十一カ所、農地六十七カ所、農業用施設五十六カ所、農道二十四カ所、林道十六路線六十二カ所、さらに農作物への被害は八ヘクタールに及び、被害総額は、三億七千三百三十二万二千元となっています。

一日も早い被災地の復旧と町民生活の安定に向け、引き続き全力で取り組んでいきます。

なお、この災害は、八月三十一日付けで「激甚災害」の指定を受けました。

町道の開通について

さより公園から国道四十九号、さらには磐越自動車道西会津インターチェンジに通するアクセス道路として位置付けた町道芝草西林線。そのうち、町道上原西二号線から町道野沢中央線までの区間が八月三日から新たに供用開始となりました。

この完成により、利便性が格段に向上するとともに、本町の

活性化や町勢の進展に寄与する幹線道路として大きな期待をしています。

なお、国道四十九号までの町道野沢安座線の区間については、平成十七年一月下旬の完成を目指して現在工事を進めています。

可決された議案

「西会津町自立宣言」について
町中山間地域振興基金条例を廃止する条例
平成十五年度歳入歳出決算の認定（一般会計、工業団地造成事業特別会計、商業団地造成事業特別会計、住宅団地造成事業特別会計、下水道施設事業特別会計、農業集落排水処理事業特別会計、老人保健特別会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、介護老人保健施設特別会計、簡易水道等事業特別会計、水道事業会計）
平成十六年度補正予算の調製（一般会計、下水道施設事業特別会計、農業集落排水処理事業特別会計、個別排水処理事業特別会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、簡易水道等事業特別会計、水道事業会計）
教育委員会委員の任命（伊藤

てる子さんが再任、沼澤望東子さん、矢野征男さんは新任）町特別功労表彰者の決定について（石川榮五郎さん「長年学校医として貢献」、橋谷田義一さん「前消防団長、長年消防団員として貢献」）
職員の給与に関する条例の一部改正

福島県知事選挙の結果

福島県知事選挙の投票が九月五日に行われ、開票の結果、投票率は七十四・四四％で前回の投票率を四・二六％下回りました。なお、候補者別得票数などについては次のとおりです。

投票結果

	当日有権者数	投票者数	投票率
男	3,493人	2,569人	73.55%
女	3,776人	2,842人	75.26%
計	7,269人	5,411人	74.44%

開票結果

有効投票数 5,363票
無効投票数 48票
候補者別得票数

候補者名	得票数
佐藤栄佐久	4,864票
小川 英雄	499票

新たな地域交流と

情報発信の拠点

「道の駅にしあいづ」が供用開始

福島県側の国道四十九号では初となる道の駅「にしあいづ」が、九月三日に供用開始となりました。

国道四十九号は、越後街道として古くから越後と会津を結ぶ交通と物流の拠点として栄え、現在も太平洋と日本海を結ぶ幹線道路として多くの方々にご利用されています。

町と国土交通省が共同で整備したこの道の駅「にしあいづ」には、利用者に休憩などの安らぎの場としてだけでなく、広域的な連携と交流による地域の活性化が期待されます。



テープカットで 供用開始を祝う

道の駅「にしあいづ」の開所式が九月三日に行われました。式では、山口町長が「福島県側の国道四十九号としては初めての道の駅を設置しました。中核施設である『交流物産館』より『よりっせ』を中心に、来る人の憩いの場、新たな地域交流の場として、また、全国に情報を発信し、町の発展につながることを祈念します」と式辞を述べました。続いて、森田康夫国土交通省東



北地方整備局郡山国道事務所長があいさつ、和田洋子参議院議員、友好都市である沖縄県平良市の伊志嶺亮市長らが祝辞を述べました。

その後、関係者によるテープカットが行われ、道の駅の供用開始を盛大に祝いました。

道の駅「にしあいづ」の概要

- ・施設全体面積 7,245㎡
- ・駐車場 60台
大型車/9台
普通車/51台(身障者用3台)
- ・道路情報提供・休憩施設
平成16年度完成予定
- ・公衆トイレ 24時間利用可能
- ・地域資源活用交流物産館

道の駅にしあいづ



グランド オープン

五月末にプレオープンしていた、交流物産館「よりっせ」が、ミネラル健康野菜直売所や、レストラン「ふるさと薬膳 櫛」^{（仮）}、友好都市沖縄県平良市の観光物産コーナーなど、各コーナーが整備されたのを受け、九月三日にグランドオープンしました。

グランドオープンセレモニーでは、友好都市の伊志嶺平良市長から、シーサーが贈られたほか、同市から招いた久田多嘉子舞踊研究所の五人による琉球舞踊の披露、野沢の祭囃子保存会によるお囃子が演奏されるなど、オープンに華を添えました。



オープンの華を添えた沖縄舞踊

世界へ向けて芸術を発信



西会津国際芸術村

町では、さゆり公園周辺施設のブロンズ像の設置をはじめ、「心ゆたかな人づくり」を目指し、文化の香り高い芸術の里づくりを進めています。

その一環として、空き校舎となった旧新郷中学校を活動拠点に、外国から芸術家を招き、国際交流と地域活性化を図る「西会津国際芸術村」が開村しました。

アーティスト紹介

リトアニア共和国から西会津国際芸術村に来た若き芸術家2人を紹介します。

名前：エグリ・ミチケヴィチュウテ
（愛称：エグリ）
専門：グラフィックデザイン



受賞：2004年キエフ国際
広告フェスティバル3位 ほか

【西会津のみなさんへ一言】

私たちは、この芸術村で楽しく過しています。
みなさん、仲良くしましょう。



名前：ケスチュティス・ラナウスカス
（愛称：キャストラス）
専門：彫刻（町にあるもの全てが材料）
受賞：1999年サウル・バトル記念彫刻展3位入賞 ほか

【西会津のみなさんへ一言】

人だけでなく町並みも素晴らしいので、楽しく過しています。

世界へ向け、芸術村が開村

九月二十五日、西会津中学校多目的ホールにおいて、西会津国際芸術村の開村式が行われました。この開村式には、関係者や町民三百人が出席し、リトアニア共和国の国旗の色である黄・緑・赤色のTシャツを着て、リトアニア共和国からの芸術家を歓迎しました。

式では、山口町長が「芸術支援の町として世界に発信していきたい」とあいさつを述べました。次に、NPO法人西会津国際芸術村の理事長であり、芸術村の発起人である安藤壽美子さ

んがあいさつし、渡部恒三衆議院議員やブロンズ像設置に協力いただいた東海大学教養学部芸術学科の新聞八紘教授らが祝辞を述べました。

続いて、今回リトアニア共和国から来町した二人の芸術家、エグリ・ミチケヴィチュウテさんとケスチュティス・ラナウスカスさんが紹介されました。式の最後には、西会津中学校の生徒による演奏やコーラスが行われ、開村式に華を添えました。

動き出した芸術村活動

芸術村事業の初年度となる今

年は、気候風土が似ており、親日的で、芸術活動の盛んなリトアニア共和国から芸術家を招くこととなりました。
エグリさんとキャストラスさんは、既に創作活動に取り組んでいます。滞在期間中は、創作活動のほかに、小、中学校の児童、生徒や地域住民への芸術の指導をとおり、地域住民との交流を行います。

また、NPO法人西会津国際芸術村や、地元新郷地区のみなさんを中心に、二人の芸術家の創作活動を支援する活動が始まり、広がりをみせています。

元気 に長寿を祝う

く平成十六年度敬老会く

各地区のお年寄りを招いての敬老会は、野沢尾野本地区が九月十一日、群岡・新郷地区が十二日にさゆり公園体育館で、奥川地区では奥川小学校体育館で十九日に開催されました。各地区とも盛大に敬老会が行われ、長年に行ったり町や社会の発展に貢献されたお年寄りのみなさんを敬うとともに、長寿を祝いました。

今年の敬老会には、昨年よりも二十五人多い二千七百六十八人（野沢地区七百九十八人、尾野本地区六百二人、群岡地区五百十八人、新郷地区二百八十七人、奥川地区五百一人）が招待されました。

この日を心待ちにしていたみなさんは、元気な顔を合わせては話に華を咲かせていました。式では、山口町長が「みなさんが元気で敬老会に出席していただき大変うれしく思います。これからも日々元気で過してください」と長寿を祝ってあいさつを述べました。

その後、今年米寿と喜寿を迎えた方々に町から、金婚を迎えた夫婦には福島民報社・県老人クラブ連合会から記念品が贈られました。

式の後には、恒例の余興が行われ、各地区の団体や保育所の子どもたちによる歌や踊りが披露され、出席したみなさんを楽ませていました。



声高らかに万歳三唱（奥川地区敬老会）



謝辞を述べる海沼（トシ子）さん（荒木）
〔群岡・新郷地区敬老会〕



話に華が咲きました
〔野沢・尾野本地区敬老会〕

50年の絆

〜金婚を迎えて〜

今年、本町で金婚を迎えられたのは、昭和二十九年に結婚された三十七組のみなさん（野沢地区九組、尾野本地区十二組、群馬地区七組、新郷地区一組、奥川地区八組）です。

喜怒哀楽を互いに分かち合い、人生の伴侶として半世紀をと共に歩んで来られた一組の夫婦に、この五十年を振り返っていただきました。

長寿者 番付

平成16年9月15日現在
〔敬称略〕

【東】		【西】		
新田 トラ (101)	さゆりの園	横 綱	長谷沼和吉 (96)	小清水
杉木 イセ (100)	さゆりの園	大 関	長谷川 栄 (96)	さゆりの園
相馬 サチ (100)	9町内1	関 脇	高久 傳 (95)	萱 本
五十嵐サン (98)	小 山	小 結	三橋 長一 (95)	縄 沢
齋藤 ヒサ (98)	堀 越	前頭1	小野木喜四郎 (95)	真ヶ沢
小林チヨシ (98)	山 浦	前頭2	佐藤 忠雄 (95)	1町内
長谷川マス (98)	中 野	前頭3	山口 董作 (95)	新 町
沼澤ハル井 (97)	5町内	前頭4	渡部 正志 (94)	黒 沢
鈴木ハツイ (97)	4町内	前頭5	山内 正壽 (94)	9町内2
石田 リイ (97)	小綱木	前頭6	新澤 常次 (94)	戸 中
齋藤 佐代 (97)	4町内	前頭7	齋藤 哲 (93)	上小島
佐藤タキノ (97)	滝 坂	前頭8	二瓶清次郎 (93)	9町内1
松崎 トシ (96)	上野尻	前頭9	小林 平八 (93)	9町内2
佐藤タケノ (96)	高 目	前頭10	齋藤 富次 (92)	堀 越
山本 節 (96)	3町内	前頭11	渡部 五郎 (92)	1町内
小林 トシ (96)	山 浦	前頭12	橋谷田義雄 (92)	2町内
小原 イシ (95)	宝 川	前頭13	玉木 四郎 (92)	向 原
佐藤 キン (95)	極 入	前頭14	石井 元甲 (92)	中 町
丹藤 キヨ (95)	8町内	前頭15	猪俣 重善 (92)	さゆりの園
武藤 美志 (95)	さゆりの園	前頭16	星 正男 (92)	10町内
長谷川タイ (95)	戸 中	前頭17	山形 一士 (92)	徳 沢
三留 モト (95)	6町内	前頭18	福地 中 (91)	漆 窪
長谷川キシノ (95)	下野尻	前頭19	渡部 正二 (91)	3町内
鈴木 ヒデ (95)	山 口	前頭20	貝沼 榮吉 (91)	小清水
佐藤 タカ (95)	徳 沢	前頭21	薄 新六 (91)	呼 賀
佐藤 トク (95)	塩	前頭22	涌井 松栄 (91)	1町内
大沼 トミ (95)	5町内	前頭23	齋藤 茂 (91)	上野尻
三瓶 ヨノ (95)	山 浦	前頭24	伊勢亀久佐 (90)	下小島
矢部 シイ (95)	中ノ沢	前頭25	齋藤 庄吉 (90)	森 野
齋藤フクイ (94)	檜木平	前頭26	佐藤 善作 (90)	新 町
伊藤シノブ (94)	徳 沢	前頭27	加藤 正次 (90)	萱 本
海老名ハルヨ (94)	3町内	前頭28	安部 寅次 (90)	上野尻
渡部キクミ (94)	さゆりの園	前頭29	有坂與四喜 (90)	上野尻
五十嵐キワ (94)	宮 野	前頭30	目黒 周五 (90)	牛 尾
大瀧 キヨ (94)	下 松	前頭31	高津 新一 (90)	端 村
安部ミサホ (94)	樟 山	前頭32	伊藤堅之助 (90)	9町内1
伊藤タケノ (94)	塩	前頭33	橋谷田善紀 (90)	4町内
甲斐 トヨ (94)	4町内	前頭34	加藤 豊造 (90)	6町内
鈴木マサノ (94)	小清水	前頭35	二瓶 喜八 (90)	西 原
吉田 雪子 (94)	野 口	前頭36	広瀬 勝 (90)	上野尻



上小島地区
佐藤 定恵さん(72)
サトさん(70)
昭和29年12月2日結婚

戦後間もないころだったから、余裕のある生活ではなかったね。昼間は土建業、帰ってから田畑を耕していたよ。でも、親の背中を見て育ったから、それが普通だと思っていたし、子どもや家庭が支えになり、苦勞の中にも本当の幸せがあったね。

五十年間仲良くやってこられたのは、ケンカもしたけど、お互いに理解し合えたのが一番の理由だね。

これからは、健康で、二人の趣味であるゲートボールを楽しみながら、一緒に喜寿を迎えたいですね。



上野尻地区
安部 志郎さん(74)
亘子さん(77)
昭和29年10月10日結婚

結婚して五十年というのは、あつという間だったね。養蚕の技術指導をしていたんだけど、西会津に来たとき、群馬の大火だったから、本当に苦勞したよ。このままにしとけば養蚕家が減ってしまうので、継続してもらえよう学校施設を借りたり、共同飼育所を作ったりしたよ。

今は、二人一緒にグラウンドゴルフを楽しんだり、旅行に出かけたりしているよ。あと、何十年も続けているのが、地区での卓球だね。これからも、二人一緒に続けて行きたいね。

まちの話題



健ひざ貯筋運動で快適生活

野沢・尾野本地区の軽度変形性ひざ関節症を持つ在宅高齢者を対象とした健ひざ貯筋教室が、9月8日、林業研修センターで開講しました。

東北大学大学院運動学分野の永富良一教授をはじめとする先生方の指導のもと、参加者は、ストレッチやセラバンド、筋肉トレーニングマシンを使って楽しく貯筋運動を行いました。



自己ベスト目指して

町内5つの小学校による陸上競技大会が、9月16日、さゆり公園多目的広場で行われました。今年で31回目となるこの大会には、各小学校の5、6年生を中心に、197人が参加。100m走やソフトボール投げ、走り幅跳びなどが行われ、選手たちは、各学校の声援を受けながら、新郷小の星善之君の選手宣誓のとおりに、自己ベスト目指して力いっぱいがんばっていました。



新たに60基の街路灯が点灯

9月14日、5町内の天満宮前では、野沢町内の街路灯点灯式が行われ、町や財産区、関係自治区などから42人が参加しました。

今回の街路灯整備は、町と関係自治区が財産区へ協力をお願いし、本町財産区と原町財産区の積立金2,100万円を財源として設置されました。

野沢町内と西平、四岐地区には新たに60基の街路灯が設置され、より一層明るくなった町並みには、防犯や交通安全、地域経済の活性化など大きな期待が寄せられていました。



親子一緒になって奮闘

尾野本・すわ保育所合同の運動会が、9月12日、秋晴れの空の下、尾野本小学校で行われました。

運動会は、玉入れや綱引き、リレーといった定番の種目からテレビのヒーローになりきっての種目や組み体操のお遊戯など、趣向を凝らした種目が行われ、奮闘する子どもたちに、家族の声援が贈られていました。

また、親子で参加する種目では、大好きなお父さん、お母さんと一緒に、グラウンドいっぱい駆け回っていました。





すこやかな生活を応援します

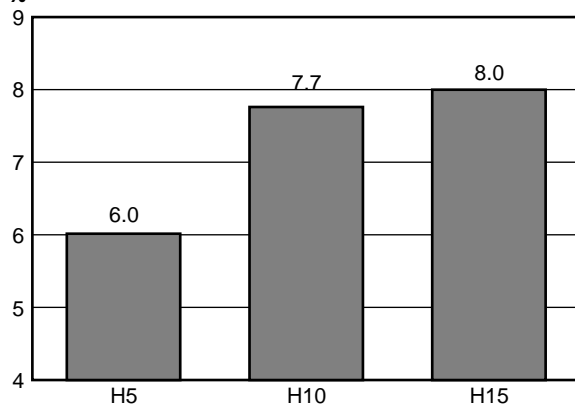
いきいきライフ

みんなで食育に取り組もう！

～10月は食生活改善普及月間です～

このような背景から、町では平成14年度から小学校での栄養教育を支援しています。

太りすぎ児童の割合（ローレル指数による）



「耶麻地区小・中・高等学校児童生徒発育状況・疾病異常の実態」より

「太りすぎ」の児童の割合が増加傾向にあります。

小学生の体型の変化

最近「食育」という言葉をよく聞きます。これまで食に関する知識は、普段の生活や食事の中であたりまえに身につくものと考えられてきました。しかし、今日では大人も子どもも忙しくなり、以前と比べて食に関する知識や興味を持つ機会が少なくなりました。さらに、食生活の乱れから肥満や極端なやせなど、健康を害する子どもの増加が見られるようになりまし。そこで一人ひとりが自立した食生活を営む能力を養う「食育」が大きく取り上げられるようになりました。

★ 食べ物に感謝できる能力

- ・子どもと一緒に野菜を育ててみよう
- ・行事食、郷土食を伝えよう

★ 体の調子を整えられる能力

- ・生活リズムを整えよう
- ・食事は3食食べよう
- ・体を動かそう



★ 味がわかる能力

- ・季節（旬）の食べ物を取り入れよう
- ・食材そのものの味を生かし「うす味」に慣れよう

★ 料理する能力

- ・子どもと一緒に料理を作ってみよう



「食育」で身につけたい

5つの能力!!

★ 食べ物を選ぶ能力

- ・主食・主菜・副菜をそろえてバランスよく食べよう
- ・食事の栄養バランスを考えて買い物しよう

あこいな！むし歯のない子

7月21日、3歳児12名を対象に健康診査を行った結果、むし歯のない子は4名でした。



原 優香ちゃん
(裕妃・尾登)



齋藤 龍敬くん
(敬顕・董本)



金子 昇英くん
(和宏・5町内)



齋藤 峻くん
(英一・3町内)

「食育」の内容はとても広範囲です。本年度も小学校高学年の児童と一緒に食について勉強していきますが、学校だけでなく、家庭や地域ぐるみで根気強く「食育」に取り組んでいくことが大切です。この秋「食育」についての講演会を企画しています。チラシでお知らせしますので、ぜひご聴講ください。大人も子どももみんなで食育

生涯学習

学びのガオリ

8月の運動会を楽しむ

8月29日(日)、真夏を思わせるような暑さの中にもさわやかな秋風を時折り感じる天候のもと、町民運動会が各地区一斉に行われました。

参加者のみなさんは、数日前までの猛暑による疲れとアテネオリンピックによる寝不足からすっかり回復した様子で、和やかな中にも真剣に競技に取り組んでいました。

第37回群岡地区体育祭



大声ならぬ美声で勝負!

- 【結果】
- 優勝 上野尻Cチーム
 - 2位 下野尻・端村チーム
 - 3位 宝川チーム

第40回新郷地区町民体育祭



カッコイー!

- 【結果】
- 優勝 笹川△呼賀・平明)チーム
 - 2位 笹川良原・新村・榎山チーム
 - 3位 三河良橋屋・戸中)チーム

第43回野沢地区親善大運動会



野沢名物「桐ゲタムカデ競走」です。

- 【結果】
- 優勝 牧チーム
 - 2位 6町内チーム
 - 3位 4町内チーム

第36回奥川地区体育祭



綱引きは、表情で勝負!

- 【結果】
- 優勝 宮野チーム
 - 2位 梨平チーム
 - 3位 松峯チーム

第30回尾野本地区町民運動会



尾野本名物? 「選手宣誓」です。

- 【結果】
- 優勝 下小島チーム
 - 2位 牛山チーム
 - 3位 森野チーム

Out of Bounds



国際交流員
マイケル・レッドワインカ

アメリカのニュースを見ると、ほとんど毎日の様に、イラクの悪い治安状況などが報じられています。戦争は、ずっと前に終わったにも関わらず、実際にはまだまだ続いているみたいです。毎日暴力があつて終わりそうにありません。私はよくこのイラク戦争のことを「ブッシュ大統領の戦争」と呼びます。ブッシュ大統領はイラクに入るために、イラクからの攻撃が無くて、イラクに入ってしまった。世界中の多くの人や一部のアメリカ人は、このイラク戦争に反対していました。しかし、戦争が始まったときには、ブッシュ大統領だけでなく、かなり多くのアメリカ人がこの戦争を応援していました。

現在も応援するアメリカ人はまだ多いのですが、前よりは少なくなりました。この戦争の大義名分である大量破壊兵器がイラクから発見されないことや、毎日報じられるイラク関連のニュースが悪いことなどから、ある程度考え直したようです。今、アメリカ人の声を聞くと、この戦争を非難している人が多く、それは良いことだと思います。

私もイラク戦争に反対ですが、今非難しているアメリカ人の話を聞くと、心配なことがあります。それは、今まで色々な国の人々がイラクで死んでいるのに、話

本格的な演劇を楽しむ

「劇団「風の子」による演劇公演」
町教育委員会の主催による劇団「風の子」の演劇公演が、9月9日(木)、さゆり公園体育館で行われました。
これは、優れた舞台芸術を鑑賞することにより、豊かな心と創造性を養うことを目的としています。



劇団「風の子」による演劇『森の中の海賊船』

今回の公演「森の中の海賊船」は町内の小学生を対象に行われました。鑑賞を終えた生徒のみなさんは、舞台を通して投げ掛けられた 自分にとって一番大切なもの(宝物)とは? の問いに対して、友だち同士で話し合っていました。

今後の予定としては、10月8日(金)に、町内の中学生を対象とした演劇「君たちはどう生きるか」を西会津中学校体育館で公演します。

ふるさと駅伝で

西会津チーム健闘

9月26日(日)に、秋の実りを湛える喜多方路を舞台に第11回喜多方地方広域ふるさと駅伝競走大会が行われました。コースは、さゆり公園多目的広場から喜多方市押切川公園体育館前までの16区間78・8kmで、本町チームの選手たちは、チームメイト全員の願がこもったタスキ

を全力でゴールまで繋ぎました。

なお、成績は参加7チーム(1チームはオープン参加)中、4位でした。



頼んだぞ。任せておけ。

今大会の結果を踏まえ、11月21日(日)に行われる第16回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会を目指して、今後も個人、そしてチーム練習に励みますので、町民のみなさんの温かい応援をよろしく願います。

スポーツクラブ教室紹介

効果抜群～親子スイミング
水中ウォーキング

今回は、町水泳協会長の和久井正己さんから寄せられた原稿をもとに紹介します。

町スポーツクラブでは、毎週金曜日午後6時30分からさゆり公園室内プールで親子スイミング・水中ウォーキングの教室を開催しています。就学前の児童から高齢者までの約50人が参加し、町水泳協会員の指導のもと、スイミングの部では基本的な泳法の練習に、そしてウォーキングの部では歩くだけでなく様々な水中エクササイズに励んでいます。

今年4月からは、ウォーキングの部に奥川地区から小野木とみ子さん(78歳)を始めとする有志10人が参加し、水中エクササイズの効果を体感しています。



元気あふれる参加者のみなさん

参加希望の方は公民館までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

公民館体育振興係 ☎45-3244

しに出るのは「8月にアメリカ人が何人死んだ」、「今までアメリカ人が何人亡くなりました」ということばかりです。死んだイラク人と他国の人についてもたまたま聞くのですが、一般のアメリカ人には、アメリカ人の方が大切みたいです。誰でも、人間の人生の価値は同じです。それは、みんなが理解すべきことです。しかし、アメリカ人の多くがそれを分かっています。しかもこの問題は、アメリカ人だけの問題ではないと思います。他国の人よりも自国の人々のことを心配するのは自然なことだと思います。その大きな理由としては、他国の人よりも自国の人が親しく知っているからだと思えます。自国の人が死んだら、その人の顔はもつとはつきり見えます。その人と似ている人と毎日会って、毎日話します。だから、いなくなるとそれをもっと強く感じます。これは、人間の特徴だと言えます。

例え、他国の人があんなに遠く感じられるとしても、私たちと同じです。同じ人間、同じ人生です。私たちは絶対にそれを忘れないようにしなくてはなりません。もし全世界の人々が、自国の人々と同じ様に外国人のことを心配したら、世界はどの様になるでしょうか? 私たちがその様な思いやる世界を望むのであれば、国際化が必要です。この様々な人間が住んでいる世界には、国際化を促進していかなければなりません。「外を、内」の一部にすることが不可欠です。でも、この話題については次の機会にしたいと思います。

みんなの広場



渡部

紀夫
さん

(上小島)

秦 貞継さん(9月号から)
メッセージ
少しヤセた方が良くと思います
よ。でも飲み会は大切であります。

あなたの趣味・特技は？

趣味：温泉巡り
特技：絵画

最近感動したことは？

息子の空手の試合を観たとき

熱中していることは？

サッカー

これからやってみたいことは？

ジェットスキーに乗りたい

自分を一言で表現するとしたら？

そそっかしい

次の方を紹介してください。

T.Wさん(黒沢)



あなたのお宝写真は？
子どもたちの写真
(元気に育ってネ！
左から脩斗くん、壮流くん、星来ちゃん)

文

芸

まんさく俳句会

秋野菜種蒔く時期を母に聞く

佐藤ミエ子(一町内)

突風や稲穂の波を煽りけり

橋谷田季美(二町内)

露草の露にまみれて犬帰る

長谷川清子(下小屋)

耳栓の濡れてかすかにちちろ鳴く

矢部 弘子(中町)

優しげに揺れるコスモス絵手紙に

矢部 モト(九町内二)

巨大南瓜鎮座して居る無人駅

山口ありさ(上野尻)

大根蒔くあとから烏ふみ歩く

山本 ノシ(九町内二)

夫の古服着せし案山子に足を止む

渡部 米子(三町内)

私の元気の素

「英語を話すことはとても楽しいです。金賞を受賞できたのは、先生や英語指導手の支えがあったからです。」

今月は、9月1日に行われた耶麻地区英語弁論大会暗唱の部で金賞を受賞し、9月17日の福島県大会では6位に入賞した西中2年の赤城圭泰君(堀越)に伺いました。

赤城君は、昨年も1年暗唱の部で銀賞を受賞しており、今年も銀賞くらいは受賞できるかなと思っていました。自分と比べていたけど、「金」で名前が呼ばれ、さらに県大会出場できるということで2度の驚きがありました。

「県大会、さらにその上の東北大会出場できるよう、自分に足りない物を見つけ、暗唱の部でリベンジしたいです。」と、来年へ向けての意気込みを語ってくれました。



後列右から4番目が赤城君

【耶麻地区英語弁論大会結果】

	創作の部	暗唱の部
2・3年の部 (個人)	銀 齋藤亜希江 銅 目黒 和人	金 赤城 圭泰 銅 三留 朋江
1年の部 (団体)	銀 青木裕記子 佐藤亜由美 鶴巣 麻也	金 小林 真人 鈴木 祐香 渡部 美里

西会津ふるさとまつり

〈第19回西会津の文化と産業祭〉

10月30日から11月1日までの3日間は、恒例の秋のビッグイベント「西会津ふるさとまつり」楽しいイベント盛りだくさんで開催しますので、みなさん、さゆり公園に集まろう！

主なイベント開催内容

10月30日(土)

- ・オープニングセレモニー
- ・町長杯争奪親善ゲートボール大会
- ・民俗芸能と民謡の集い
- ・桐ゲタ投げ全国大会
- ・キャラクターショー

10月31日(日)

- ・桐ゲタ健康マラソン大会
- ・みんなで太極拳！
- ・牛牛フェア
- ・ミュージックフェスタ

11月1日(月)

- ・歌謡ショー(平浩二、広畑あつみ)



体育館内展示・出店コーナー 30日～31日
(体育館内展示：30日は午前9時30分～午後8時
31日は午前9時～午後4時)

各種イベントへの参加者を募集中です。
詳しくは、開催チラシをご覧ください。

【問い合わせ先】

町ふるさと振興推進委員会事務局(地域振興課内)
☎45 2213



お知らせ

税務課資産税係からの お知らせ

家を新築・増築した場合や
取壊しをした場合には手続きが
必要です。

新築・増築をした場合

平成16年1月2日以降に家
屋を新築または増築した方で、
まだ家屋調査を受けていない
方はお知らせください。
不動産取得税(県税)の申
告も必要です。

取壊しをした場合

取壊しをした場合には、「減
失申告書」を提出してくださ
い。

「滅失申告書」が提出され
ないと、次年度以降も固定資
産税が課税される場合がありますので、必ず提出してくだ
さい。

【問い合わせ先】

税務課資産税係
☎45 2212

バイク等の廃棄について

今まで粗大ゴミで回収してい
たバイク等は、10月1日からメ
ーカーが有償で回収することか
ら、粗大ゴミでは収集いたしま
せん。廃棄する場合は、購入先

夜9時	昼2時	朝6時	
下半身	胴体	上半身	月
胴体	上半身	下半身	火
上半身	下半身	胴体	水
下半身	胴体	上半身	木
胴体	上半身	下半身	金

毎日同じ種目を行うと筋肉を痛めて
しまい逆効果です。少し間隔を空ける
か、種目を変えて行いましょう。

「貯筋運動」で 元気に百歳!

セラバンドを使った新しい貯
筋運動」をケーブルテレビで放
送中です。上半身・下半身・胴
体ごとの運動を藤田和樹先生た
ちが楽しく紹介しています。放
送時間帯は次のとおりです。ぜ
ひご覧ください。

【問い合わせ先】

町民生活課 ☎45 2215



このマークが目印

が廃棄二輪取扱店マークのある
販売店にお問い合わせください。

行政なんでも相談!

～秋の行政相談週間～

10月18日(月)～24日(日)の一週間
は「秋の行政相談週間」です。
役所(国・県・町)や公団・
公庫、NITなどの仕事に関し
て、苦情や困っていること、要
望したいことなどお気軽にご相談
ください。また、合わせて特
設人權相談所を開設しますので、
いじめや家庭内の問題・近隣間
のトラブルなど、この機会にこ
相談ください。相談は無料で秘
密は堅く守られます。

行政相談・人權相談 日時・会場

10月19日(火)

新郷連絡所 午前9時30分
～正午

奥川支所

午後1時30分
～午後4時

10月20日(水)

保健センター 午前9時30分
～正午

町公民館

午後1時30分
～午後4時

行政相談員

山本 義子さん(9町内2)

伊藤 岩雄さん(塩)

薄上 幸一さん(3町内)

沼澤望東子さん(牛尾)

戸籍の窓口

■平成16年9月1日現在	前月比
人口 8,935人	- 9人
男 4,337人	- 7人
女 4,598人	- 2人
世帯 2,968世帯	- 3世帯

■8月受付分 敬称略

お誕生おめでとう



齋藤 匠 良二・久子 安座
池田 涼真 眞二・涼子 上野尻

ご結婚おめでとう



武藤 洋一 芹沼
本間 玲子 新潟県村松町
佐藤 修一 橋立
石井 美穂 会津坂下町
鈴木 祐輔 新町
伊藤 江美 新潟県五泉市

お悔やみ申し上げます

小野崎 ユキ子(82) 順子 母 8町内
橋谷田 留七(79) キヨ子 夫 10町内
二宮 カツノ(87) 勝男 母 松尾
長谷川 治郎(83) 廣志 父 松尾
猪俣 庄司(83) 政司 父 尾登
赤城 マツノ(89) 明雄 母 さゆりの園
渡部 チヨノ(93) 昌 母 上野尻
北内 昌(74) 元子 夫 上野尻
石川 稔(81) 和人 父 下野尻
藤原 確(73) 幸子 夫 下野尻
石川 義正(63) 幸子 夫 下野尻
五十嵐 喜市(76) 榮子 夫 滝坂

休日当番医(10月)

日	地区	医療機関名	電話番号
10 (日)	喜多方市	小野病院	0241(22)0414
		大竹内科	0241(22)0241
	会津若松市	佐藤内科循環器科医院	0242(26)2820
		浜崎小児科医院	0242(27)0951
		いがらし耳鼻咽喉科	0242(39)2010
	会津坂下町	佐藤整形外科医院	0242(83)1155
11 (月)	喜多方市	鳴瀬病院	0241(24)3333
		君島内科消化器科クリニック	0241(24)5800
	会津若松市	増戸内科医院	0242(25)4876
		いづかファミリークリニック	0242(32)3330
		クリニック荒木	0242(32)9229
	17 (日)	喜多方市	有隣病院
斎藤医院			0241(22)0212
会津若松市		くらしげ内科小児科医院	0242(39)3550
		佐藤病院	0242(26)3515
会津坂下町	こばり耳鼻咽喉科クリニック	0242(29)0800	
	あかぎ内科消化器科医院	0242(83)0303	
24 (日)	喜多方市	佐原病院	0241(22)5321
		高橋小児クリニック	0241(25)7066
	会津若松市	あらい内科循環器科クリニック	0242(29)1133
		わたなべクリニック	0242(24)0506
31 (日)	喜多方市	県立喜多方病院	0241(22)2181
		ひらの医院	0241(22)3135
	会津若松市	そね内科クリニック	0242(33)1024
		いとう子どもクリニック	0242(27)4601
		鏡淵外科胃腸科	0242(27)3225
	会津坂下町	寿松堂渡辺医院	0242(83)3125

歯科休日当番医(10月)

日	地区	医療機関名	電話番号
10 (日)	会津坂下町	酒井歯科	0242(83)1582
	会津若松市	玉川歯科	0242(26)6600
11 (月)	喜多方市	北見歯科	0241(22)4350
	会津若松市	筒井歯科	0242(26)8371
17 (日)	金山町	栗城歯科	0241(54)2146
	会津若松市	長峯歯科	0242(29)4182
24 (日)	喜多方市	あきら歯科	0241(24)5097
	会津若松市	蓮沼歯科	0242(28)7110
31 (日)	山都町	二瓶歯科	0241(38)2058
	会津若松市	本間歯科	0242(22)0922

10月の納税等

水道料金・下水道料金
インターネット使用料
ケーブルテレビ使用料
納期限 10月12日(火)
固定資産税第3期
介護保険料第5期
土地改良区償還賦課金第2期
納期限 11月1日(月)

今月の
心配ごと相談日

日時 10月7日(木)
27日(水)
午前9時~

場所 老人憩の家

電話 45-4259